

平成24年度 薬剤師として身につけておきたい ～高齢者支援の実践に必要な知識と技術～

主催：慶應義塾大学薬学部

受講者を40名募集いたします。すべて受講された方には修了証を授与いたします。

<日時> 5/20・6/17・7/1・7/22・8/5・1/13・1/27・2/17・3/3・3/17
(時間帯は各日12:00～18:00)

<会場> 慶應義塾大学芝共立キャンパス(東京都港区芝公園1-5-30)

<受講料> 無料

<応募資格> 勤務薬剤師であること。すべての回に参加可能な方。
一つの施設から多数の応募があった場合は、施設で1名とさせていただきます。

	講義形式	実習形式
5/20(日)	高齢者を取り巻く制度 大木一正(東京都薬剤師会常務理事) 福島紀子(慶應義塾大学薬学部教授)	車いす・高齢者疑似・介護体験 関由美子(理学療法士)
6/17(日)	認知症の基礎知識/認知症のケア・治療 繁田雅弘(首都大学東京大学院 研究科長)	認知症そのこころの世界 NPO法人 アビリティクラブ たすけあい
7/1(日)	高齢者医療と薬剤師 賀勢泰子(久仁会 鳴門山上病院薬剤部長)	嚥下体験・口腔ケア・衛生用品(おむつ等)の実際 介護福祉士
7/22(日)	救急法基礎講習会	
8/5(日)	加齢に伴う薬物動態の変化 菅野 疆(どんぐり工房)	医療機器・医療材料① (株)テルモ (HOT・自己血糖測定・パルスオキシメーター等)
1/13(日)	がん性疼痛の管理	轡 基治(うえまつ薬局)
1/27(日)	高齢者の薬物治療の留意点 川添哲嗣(くろしお薬局代表取締役)	バイタルサインの取り方・見方 鈴木孝(日本大学薬学部臨床医学教授)
2/17(日)	輸液・経管栄養による栄養管理・簡易懸濁法 倉田なおみ(昭和大学薬学部准教授)	経管栄養・簡易懸濁法 倉田なおみ
		医療機器・医療材料② (輸液・腹膜透析) (株)テルモ
3/3(日)	褥瘡の薬物治療の知識と技術 古田勝経(国立長寿医療センター副薬剤部長)	
3/17(日)	高齢者ケアに関わる薬剤師の実際	畠中岳(すばるコーポレーション常務取締役) 沼田久美子(元東京女子医科大学在宅医療支援・推進室医師)

【申し込み】 カリキュラム内容について変更する場合があります。

- ①氏名 ②勤務先名 ③勤務先住所 ④年齢 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦E-mail・FAX番号
⑧志望動機及び受講目的(600字以内)

上記を明記し、FAX(03-5473-0740)又はE-mail(geriatric@pha.keio.ac.jp)にご連絡下さい。

【締め切り日】 4月30日(月) 提出された資料より選考させて頂き、後日、結果をお知らせ致します。
受講生になられた方に研修の詳細を送付致します。

【お問い合わせ・詳細は】

慶應義塾大学薬学部社会薬学講座 fax:03-5473-0740 E-mail:geriatric@pha.keio.ac.jp

共催：東京都薬剤師会